

相模原マンドリン倶楽部

第38回定期演奏会



2023年10月28日(土) 14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日はご多忙の中、相模原マンドリン倶楽部第 38 回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

相模原マンドリン倶楽部は 1977 年（昭和 52 年）の創部以来、今年で 46 年となり、社会人のマンドリン団体として県下では最大規模の合奏集団へと成長いたしました。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により練習の制限も解除され、2 年ぶりにこの時期に定期演奏会を行うことができることとなりました。今回は、第 I 部では海、山、河をテーマにしてマンドリンオリジナル曲を中心に、第 II 部ではエキゾチックをテーマに、情景が浮かぶ曲の数々を演奏します。

秋の昼下がりのひとときをマンドリン音楽でごゆっくりお楽しみください。

♪ 演奏曲目 ♪

指揮：新井 義輝（客演）

第 I 部 海、山、河をテーマに

1. 組曲「アルプス写景（山岳写景）」
I 山のこだま
II 牧人の愛の唄
III 黄昏に（牧歌）
IV ロンド（終曲）
作曲：ロドーヴィコ・メラナ＝フォクト
2. 山吹く風
作曲：アルマンノ・モルラッキ
3. ローレイ・パラフレーズ
作曲：ヨーゼフ・ネズヴァドバ
編曲：シルヴィオ・ラニエリ
改編：新井義輝
4. 海の組曲
I ナイアデスのセレナーデ
II オンディーヌの踊り
III セイレーンの唄
IV トリトンのフーガ
作曲：アメデオ・アマデイ

-----休憩 15 分-----

第 II 部 エキゾチックをテーマに

1. 歌劇「バグダッドの太守」序曲
作曲：フランソワ＝アドリアン・ボワエルデュー
編曲：松本 譲
2. アラビア風間奏曲
「オアシスにて」
作曲：エリセオ・マルティ
3. 歌劇「アイーダ」凱行進行曲
作曲：ジュゼッペ・ヴェルディ
編曲：新井 義輝
4. 組曲「エジプトの幻影」
作曲：ジュリオ・デ＝ミケーリ
編曲：中野 二郎

♪曲目紹介♪

●組曲「アルプス写景（山岳写景）」(Scene Alpestri)

作曲：ロドーヴィコ・メラナ＝フォクト (Lodovico Mellana Vogt ; ?～?)

フォクトについて生没年など詳細は不明であるが、20世紀初頭にスイスで活躍していたようである。本曲は題名のとおり美しい高山の一日の情景を描いた組曲である。

●山吹く風 (BREZZA MONTANINA, SERENATELLA)

作曲：アルマンノ・モルラッキ (Armano Morlacchi ; 1873-1941)

モルラッキは、作曲のほかミラノマンドリン合奏団の指揮者もしていた。マンドリンオリジナル作品の他に多くの佳曲の編曲をしている。本曲は、1906年にイタリアの「イル・プレットロ」誌の創刊号を飾ったマンドリン作品である。

●ローレイ・パラフレーズ (Loreley-Paraphrase, Op. 17)

作曲：ヨーゼフ・ネズヴァドバ (Josef Nesvadba ; 1824～1876)

ローレイとは、ドイツのライン河畔の岩山。航行の難所であることが、「岩山にたたずむ美しい少女が船頭を魅惑し、舟が川の渦の中に飲み込まれてしまう」という伝承に転じた。この伝承を題材にしたハイネの詩にジルヒャーが曲をつけたものが著名であり、近藤朔風による邦訳詞がある。この曲を基にチェコ人ネズヴァドバが変奏曲風に作り上げ、ラニエリがマンドリン合奏曲に編曲したものが、本日演奏するものである。

●海の組曲 (Suite Marinaresca)

作曲：アメデオ・アマデイ (Amedeo Amadei ; 1886～1935)

アマデイはイタリアの作曲家。数多くのマンドリンの合奏曲や編曲を残し、わが国でも彼の作品は多数演奏されている。本曲は1908年にイル・プレットロ誌が主催した第2回作曲コンクールにおいて第1位を受賞した。ナイアデスは泉や川にいる妖精、オンディーヌは水の精、セイレーンは美しい歌声で航行中の人を惑わす海の怪物、トリトン は法螺貝により波を立てたり鎮めたりする海の神。

●歌劇「バグダッドの太守」序曲 (Le calife de Bagdad)

作曲：フランソワ＝アドリアン・ボワエルデュー (François-Adrien Boieldieu ; 1775～1834)

ボワエルデューはフランスのオペラ作曲家。1幕もののオペラ「バグダッドの太守」は彼の出世作になる。序曲は現代でもしばしば演奏される。カリフ（イスラム国家の最高指導者のこと）が、盗賊にさらわれた美女を救い出し、彼女と結ばれるという物語である。

●アラビア風間奏曲「オアシスにて」(Nell'Oasi, Intermezzo Arabo)

作曲：エリセオ・マルティ (Eliseo Marti ; ?～1963)

ラクダを連ねたキャラバンが、砂漠の中の長い道のりを経てオアシスにたどり着く。そんな情景が目に浮かぶ、アラビア風の間奏曲である。

●歌劇「アイダ」凱旋行進曲 (AIDA, Marcia Trionfale)

作曲：ジュゼッペ・ヴェルディ (Giuseppe Verdi ; 1813～1901)

エジプトの依頼で作曲されたヴェルディの著名なオペラ「アイダ」の第2幕第2場、エジプト軍がエチオピア遠征に勝利して凱旋する際の曲が「凱旋行進曲」である。テーマは「アイダトランペット」という主管のまっすぐな長いトランペットで演奏するよう作曲者に指定されているが、本日のマンドリンオーケストラ版ではマンドラにより演奏する。

●組曲「エジプトの幻影」(Visioni Egiziane)

作曲：ジュリオ・デ＝ミケーリ (Giulio De Micheli ; 1889～1940)

ミケーリはイタリアの作曲家。本曲は氏の代表作の1つであるが、管弦楽として演奏されることは稀であり、マンドリン合奏に編曲されたものがよく演奏される。

(参考資料として、大阪医科大学ギター・マンドリンクラブOB会HP、東京フィルハーモニー交響楽団HP、Wikipedia等より引用させていただきました。)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

明治大学商学部、および東京音楽大学指揮科卒業。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。2003年よりプロ音楽家による音楽集団『チェンバーミュージックハウス』を主宰。

音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラ、マンドリンアンサンブル、吹奏楽、合唱など幅広い分野での指揮、指導にあたる。多彩なレパートリーをもち、作品の丁寧な読み込みや的確なアドヴァイス、メリハリのある音楽作りの姿勢や指揮ぶりなどにより器楽奏者、歌手から演出家にいたるまで絶大な信頼を得ている。

また、主にマンドリン音楽の作曲・編曲を手掛け、代表作「小組曲」などの作品が各地で度々再演されている。

♪ メンバーの紹介 ♪

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

| | | | | | | |
|--------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------|---------------|
| 1st Mandolin | ◎窪田成子 仁尾眞里 吉野昌重 | ○山崎了三 舟田徳穂 | 石本友子 木田絹子 | 桑田久美子 宮部美智子 | 佐藤陽平 森 陽子 | 中重亜由美 吉岡直美 |
| 2nd Mandolin | ◎梅澤典子 大矢利夫 藤間夏子 | ○饗庭裕子 金澤葉子 福谷隆治 | 阿川陽子 京増万由美 松本美千代 | 綾部文子 児玉三保子 宮原善子 | 池田百合子 小貫カツ子 | 大沼和江 田嶋稔一 |
| Mandola | ◎寺田美千代 野沢孝広 | ○小竹由美 笛木和美 | 岡林誠士 三木善二 | 小竹義範 峯田福代 | 末永浩二 三村乃之 | 中村佑梨奈 宮下和子 |
| Mandolon-cello Guitar | ◎藤田尚美 ◎小林 徹 新田美佐子 | ○村田昌子 ○浦田富男 原田 治 | 飯田正男 赤羽 浩 福間悦子 | 小澤健二郎 加登文子 和田真紀子 | 鈴木すみ子 田中厚子 | 宮本皓永 中西茂樹 |
| Contrabass | ◎加藤規康 | ○錦戸雅子 | 鈴木保彦 | | | |
| Percussion | ☆土屋祐介 | ☆宮部裕美 | ☆安田詩代乃 | | | |

司会 ☆高橋理恵 (FM 江戸川)
ステージ・マネージャー 野沢孝広 中井顕成

部長 小澤健二郎
マネージャー 大沼和江 浦田富男 木田絹子 錦戸雅子
技術委員長 中西茂樹
技術副委員長 原田 治
部内指揮者 中西茂樹 小林 徹

♪ 練習風景 ♪

約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真はコロナ前の練習風景です。



♪ 第39回 (2024年) 定期演奏会の予定 ♪

日時 2024年10月19日(土) 14時開演
場所 相模女子大学グリーンホール 大ホール
詳細はウェブサイト (<https://sagamiharamc.com>) に掲載致します。
問い合わせ先 小澤健二郎